

平成25年度

「学生によるオレンジリボン運動」 四天王寺大学 実施報告書



実施主体 人間福祉学科 平川ゼミ・畑ゼミ・鳥海ゼミの3年生

実施内容 平成25年11月2～4日の第54回大学祭にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

実行委員によるミーティングにおいて活動方針が検討され、事前に以下の活動が行われた。

(1) 合同ゼミにおいて学生より児童虐待に関する話題提供 (2) オレンジリボン作成班、メッセージカード班、展示パネル班、イベント班に分かれての準備作業 (3) 大学祭直前に全学部1年生を対象とする授業においてオレンジリボン運動の趣旨に関する広報活動

②実施期間に取り組んだ具体的内容

学舎ロビーに『オレンジリボン運動コーナー』が設置され、大学祭来場者に対して以下の取り組みを通して啓発活動が行われた。

(1) オリジナルメッセージを付したオレンジリボン1200個の配布 (2) ブックマークの配布 (3) オレンジ色の風船によるバルーンアートおよび配布 (4) <子育てにかかわる願いを込めた樹>の共同制作 (5) 児童虐待の定義や要因、相談機関に関するポスターパネルの展示

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

(1) 大学祭来場者に対して、オレンジリボン運動の趣旨について理解を促すことができたと同時に、学生主体の活動に多くの方々からの共感が得られた。

(2) <子育てにかかわる願いを込めた樹>に多くのメッセージが寄せられ、子ども連れの家族と学生が交流する機会として非常に有効であった。

(3) 実施した学生自身も児童虐待防止に対する理解が深まったと認識している状況がみられた。

(4) 大学祭終了後、活動をふりかえる機会をもったことによって、運動の意義の再確認や、活動の改善策などを共有することができた。

「保護者、子ども、近隣住民、社会全体に児童虐待防止の想いが届いてほしいという願いを込めて、一つずつ丁寧にリボンを作った。メッセージの描かれた台紙のうへにオレンジリボンが貼られたとき、私たちの想いが社会に届くような気がした。」(学生による感想を抜粋)

